

日銀旭川事務所長のみた 旭川シーン SCENE 12

金融機関の

貸出状況(前編)

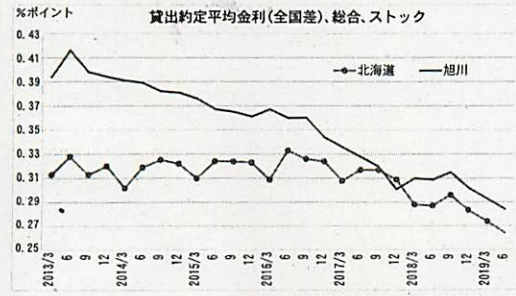
今回は地域における金融機関の貸出状況についてお話しします。まずは貸出側からみた旭川の状態です。

今回のお話には下敷きがあります。日本銀行金融機構がこの春に出した「日銀レビュー2019-J-4 地域銀行の越境貸出の動向」では、地域銀行が本店所在地の隣接地域での貸出を伸ばしており、越境貸出を受けている側も貸出金利を引下げて防戦するなど、競合が一層激化していること、

これが地方都市圏でも生じており、国内では貸出金利が収斂化の方向で低下圧力がもたらされている可能性が高いことなどが報告されておりまして、旭川ではどうでしょうか。

旭川地域における貸出約定平均金利(総合、ストック)の推移をみると、異次元緩和が始まった二〇一三年頃から全国との差異はほとんど縮まり、確かに収斂してきています。さらに、貸出金利を短期の貸出と長期の貸出に分けると、旭川では二

〇一五年頃や二〇一八年後半頃に急速に長短金利差が縮小し、国内銀行のデータ以上に長短金利差がフラット化していきま



困みに、グラフに示した貸出約定平均金利はブ



【中本浩信(なかもと・ひろのぶ) 一九六三年東京都生まれ、東京大学法学部卒。支店は鹿児島県神戸に勤務。二〇一八年八月から旭川事務所長。趣味は絵画鑑賞。

ローベースでなく、ストックベースですので、新たに低利の貸出が増えてもそれを含めた貸出全体の残高ベースで金利低下に結び付くには時間がかかります。そこで、貸出前年比の伸びを二年後ずらしして、長短スプレッド縮小のグラフに上書きすると、その軌跡は概ね符合するようにも見えま

口が多い短期の運転資金というより、大口が多い長期の設備資金で一気

す。金融機関の貸出競争は厳しさを増しています。ジェームズ・テイソン主演の「Rebel Without a Cause」(邦題理由なき反抗・一九五五年)では、主人公と敵役のチキンレースが注目を集めました。自動車に乗って互いに正面を向き合い突進し、先に避けた方が臆病者とみなされるのです。

増水した石狩川。いつもは穏やかな旭川の河川も、過去何度か氾濫しました。

